

第9回	水周りはタイルが一番		平成20年 10月 6日 (月)	
	進行役	木原 陽(株)日本設計)	特別講師	(株)INAX

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	乾式下地のボード類はどんなものとなりますか？タイルの種類で変わりますか？	せっこうボード、ケイカル板(比重1.0)、合板が使用できます。せっこうボードは水がかりがある場所では使用できません。また、せっこうボードは使用できるタイルの厚みは9.5mm以上としています。
2	一口に役物と言っても一杯ありますが、タイル種別でどこまで分けるのですか？	「タイルの知識」の29P～31Pをご参照ください。
3	アスロック・ALCに張りますが大きさの許容は？又引っ張り強度の評価はどうしていますか？タイル下地は何を使用しますか？特殊な接着剤ですか？	アスロック:接着剤張り 600mm角まで モルタル張り 300mm角まで ALC:接着剤張り 300mm角まで モルタル張り 200×60mm角まで 接着強度の検査は現場サイトで試験体を作製して検査を行うのが一般的です。 下地調整はアスロックはできませんので、そのままタイル張りを行います。 ALCの下地調整は、JIS A 6916(建築用下地調整塗材)のCM-2という区分に該当する既製調合モルタルを使用します。 張付け材料は、外装用の弾性接着剤またはポリマーセメントモルタルです。 外装用の弾性接着剤は、全国タイル工業組合の品質認定制度(Q-CAT)の認定品を使用することを推奨します。
4	ハイドロ処理品が最近では主流多ですが、一般品との出荷量比率はどうなっていますか？又価格はどうですか？	ハイドロはTOTOの商品で、INAXの防汚タイルはマイクロガードといいます。マイクロガードの比率は外壁全体で見るとごく僅かで、1～2%程度です。
5	床タイルの下地ごしらはタイル工自身でやられていますか、出来ない部分はありますか？	バサバサモルタルの場合はタイル工が施工する場合がありますが、レディミクストのモルタルを使用する場合は左官工が仕上げるのが一般的です。
6	タイル目地の種類を教えてください。	「タイルの知識」の36P～37Pをご参照ください。
7	半磁器と陶器の違いは？	半磁器はINAXの商品名で、陶器質に分類されます。
8	自然石タイルの下地は一般タイルと同じでいいですか。使い分けるのであればその方法？(主に壁)	石の下地は基本的にはタイルと同じです。多少、異なるのは、バサバサモルタルがタイルのほうが石より水分の多いモルタルを使用するので、下地の強度が強い傾向があります。石の場合は空練モルタルといって水を加えないで練りますので、強度が弱くなります。空練モルタルの場合、厚みのある石は強度があるため不具合がでませんが、タイルや薄い石では割れることがあります。

番号	質問事項	回答及び補足事項
9	MCR工法・高圧水洗目荒らし工法について少し詳しく教えてください。 工法、単価差、必要な細目、メリット、デメリットなど。	別の資料で説明します。
10	最近のタイル張り工法の主流は？	内装壁は接着剤張り、床は圧着張り、外壁のモザイクタイルはモザイクタイル張り、二丁掛サイズは密着張りまたは改良圧着張りが主流です。
11	床タイル下地モルタル(左官)は通常不要(張り付けモルタルのみ?)or必要?	コンクリートスラブのみで精度が確保できれば不必要ですが、通常は精度が確保できませんので、下地を作る場合が多くなっています。
12	内部タイル張りの入隅のシーリングはm2単価に含まれますか。	シーリングは別工事となりますので、タイル工事のm2単価に含まれていません。
13	内壁タイル張の下地は普通石膏ボードでもよいですか。	水がかりがなければ問題ありません。
14	床用タイルを巾木、壁に使用することはありますか。	使用することがあります。
15	親水性タイルの耐用年数はどの程度ですか。又、劣化があるとすれば、その対処方法を教えてください。	親水性は経年で落ちるものではありません。親水性が落ちる要因としては、排気ガス、シリコンオイルなどの有機物の汚れの付着があります。この場合、洗浄して汚れを除去すれば、もとの親水性に戻ります。
16	タイル張り工法別の剥離の優劣を教えてください。	最近、増えてきた接着剤張りは剥離が少ないですが、モルタルでの施工法では工法による差はあまりありません。直張りは下地精度が良くないため、モザイクタイルのマスク張りは適しません。たたき押し不足による剥離が多い傾向があります。
17	内装タイル下地において、イナメント等の接着剤で施工可能な物と、コスリやモルタル下地が必要な物の見極め方が、品番による確認以外に厚さ等による基準があるのでしょうか。	下地にモルタルのこすりが必要な場合は、ALC下地で、大形のタイルを接着剤の点付けやビードで施工する場合のみです。ALCは強度が低いいため、部分的に接着剤を付ける施工法では接着剤の硬化収縮でALC自体が破壊する危険性があるためです。
18	内装タイル接着工法の時、下地にPBを使用する場合は、部屋の用途にかかわらず耐水PBとした方がよろしいでしょうか。また、ケイカル板と比較した場合は、どちらが施工上望ましいでしょうか。	タイルの有無にかかわらず、水がかりの有無でせっこうボード、耐水せっこうボードを使い分けるのが適切だと考えます。ケイカル板よりせっこうボードのほうが長さ変化が小さく、タイルのひび割れの不具合は少なくなります。せっこうボードで問題ない部位でしたら、せっこうボードを使用することをお勧めします。
19	巾木がタイルで壁がタイル以外の場合や、巾木がSUSで、壁がタイルという場合、また、腰壁タイル天端の見切り材取り合いなど、実際にはシーリングが打たれている場合が多いタイル端部のシーリングは積算上、不要でよろしいのでしょうか。	シーリングの積算は必要だと考えます。

番号	質問事項	回答及び補足事項
20	マンション等のリビングや玄関の床がフリーフロア+タイル貼の場合がありますが、フリーフロアが防音対策品の場合が多く、床面がたわむ為、下地の継ぎ目で浮きが発生する場合がありますが、積算段階で見込める対処法がありますでしょうか。	「タイルの知識」の62Pの断面構成で積算をお願いします。
21	湿式工法において、一般的なタイルの場合、貼り上げ高さに制限はありますか。また、ホール等で高さがある場合、剥離防止の為の施工方法として望ましいものがありますか。	万が一、剥落した場合に高さが高いほど落下範囲が広くなり、第三者被害の可能性が高くなりため、より安全な工法の選択が必要だと考えます。吹き抜けのホールなどでも、剥落した場合の影響が大きくなります。モルタル施工より接着剤張りのほうが剥離が少ないため、接着剤張りを推奨します。
22	外装タイルにおいて、近年は一般的に打放下地で計上するケースが多いですが、図面に記載がある場合や、大判タイル以外の場合で、モルタル下地とする基準がありますでしょうか。	モルタル下地の主目的は面精度の調整です。建具との取り合いなどで、シビアな精度が求められる場合、精度が確保しにくい建物形状の場合は、設計図書でモルタル下地を前提とすることをお勧めします。
23	カタログに記載のある(ネット張り)はどのような工法の時に使用すればよろしいでしょうか。	外壁でモルタル施工する商品はネット張りがありません。(施工できません) 床、内壁、外壁の接着剤張り用の商品はネット張りのものがあります。
24	内部の役物タイルは通常あまりみませんが、必要な場合はありますか。	出隅、入り隅などの意症状の観点から役物を使用しますが、最近では使われることが少なくなったため、役物を揃えている商品が少なくなりました。
25	どのような場合MCR工法にするのでしょうか。又、コストは通常の工法に比べてどの程度差がありますか。	MCR工法は、コンクリートとモルタル界面の剥落防止工法です。コストが高いため、最近では超高压水洗による目荒しが多く使用されるようになりました。MCR工法は、超高压水洗の2倍程度の価格となります。
26	外壁タイル張のタイルが落ちるのはなぜですか？(落ちる確率 〇%/10年等、データはありますか)	外壁タイルの剥離原因は、「タイルの知識」の70P～71Pをご参照ください。 落ちる確率についてはデータがありません。
27	陶器質、せつ器質、磁器質と分類する理由を教えてください。	旧JISでは吸水率で区分していました。これは、吸水率により性能や質感が異なるためです。しかし、必要な性能と必ずしもリンクする訳ではありませんので、新しいJISでは、ISOに合わせてⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類という区分方法になりました。
28	タイル製品になるまでに一番コストがかかる行程は何ですか？	焼成工程です。